

# 今、何の病気が流行しているか！

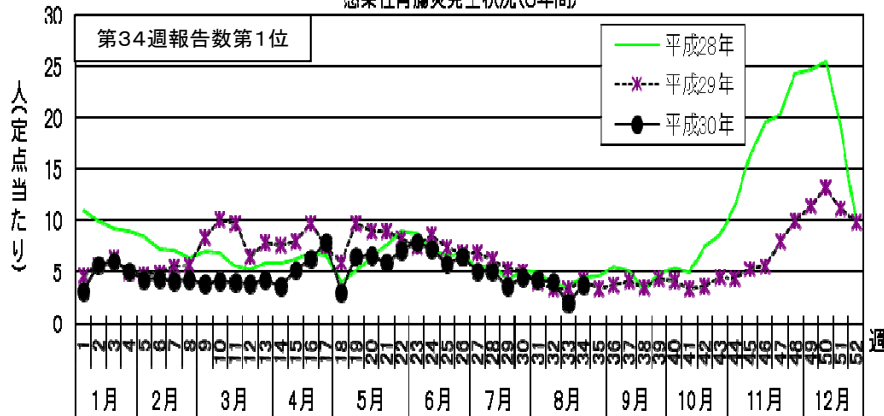
【感染症発生動向調査事業から】

平成30年8月20日（月）～平成30年8月26日（日）〔平成30年第34週〕の感染症発生状況

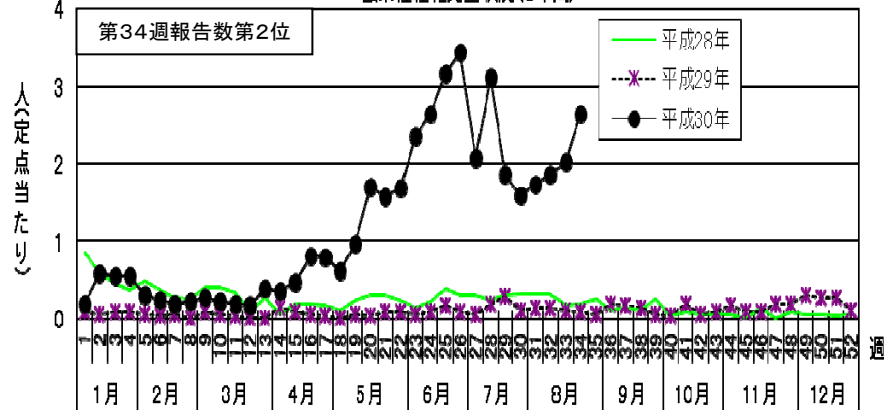
第34週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 伝染性紅斑 3) ヘルパンギーナでした。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.76人と前週（2.07人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。  
 伝染性紅斑の定点当たり患者報告数は2.64人と前週（2.03人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。  
 ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は2.39人と前週（2.77人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



伝染性紅斑発生状況(3年間)



## こんな症状に注意！！－海外旅行後の健康チェック－

海外旅行者の数十パーセントが、帰国後何らかの体調不良を訴えるといわれています。感染症には、潜伏期間が数日から1週間以上と長いものもあり、渡航中あるいは帰国直後に症状がなくても、しばらくしてから具合が悪くなることもあります。

体調不良がみられた時は早めに医療機関を受診し、症状だけでなく旅行先や旅行期間も必ず医師に伝えてください。

### 受診前のチェックリスト

- 氷入りの飲み物を飲んだ
- 蚊に刺された
- 動物に触った
- 湖や川の中に入った
- 周囲に体調が悪い人がいた
- 現地で治療を受けた



厚生労働省検疫所（FORTH）「病院にかかる前のチェックシート」から抜粋

### 発熱

海外から帰国後、発熱することは多く、特に発展途上国から帰国した人の2～3%に発熱がみられるといわれています。

【発熱をきたす感染症】  
 デング熱、マラリア、麻しん、風しん、ジカウイルス感染症等



### 発疹

発疹は、ウイルス、細菌、寄生虫等、様々な感染が考えられます。疾患によって発熱に伴うもの、かゆみが強いもの等があります。

【発疹をきたす感染症】  
 麻しん、風しん、デング熱、ジカウイルス感染症等



### 止まらない下痢

海外旅行に行った人の半数以上が旅行先で下痢を起こします。通常は数日でおさまりますが、帰国後も症状が続く場合もあります。

【下痢をきたす感染症】  
 細菌性赤痢、腸チフス、コレラ等

